



KADOKAWA

「EPUB」最新状況

APLセミナー資料

2021/10/19

KADOKAWA / BOOK WALKER
APL (Keio-SFC) / W3C EPUB3-WG
高見 真也

「EPUB 3」仕様の歴史

- **EPUB 3.0 (2011/IDPF)** :
 - 日本語の縦書きに対応
- **EPUB 3.0.1 (2014/IDPF)** :
 - フィックス型仕様を統合し普及版
- **EPUB 3.1 (2017/IDPF)** :
 - 普及せず現在は廃版
- **EPUB 3.2 (2019/W3C)** :
 - CG策定のためW3C標準ではないが最新版
- **EPUB 3.3 (2023? /W3C)** :
 - 新生WGによりW3C標準を目指し策定中

2017年、「IDPF」は「W3C」へ統合




W3Cの標準は勧告 (Recommendation) と呼ぶが「EPUB 3.2」はそうではない

W3Cでは当初、「EPUB 4」を策定しようとしたが挫折し、「EPUB 3」をW3Cの正式な仕様とすべくWGを再構築


W3C EPUB 3 Working Group (EPUB3-WG)

- 「EPUB 3.3」を策定している国際標準化グループ

Chairs



Dave Cramer
W3C Invited Experts
[dauwhe](#)




Wendy Reid
Rakuten, Inc.
[wareid](#)



Shinya Takami
Kadokawa Corporation
[shiestyle](#)

W3C Staff Contacts



Ivan Herman
W3C
[iherman](#)

2021年10月18日現在、
29の組織・団体から
71名の参加者

【日本の参加企業】

- ACCESS
- 電通
- KADOKAWA
- 講談社
- メディアドゥ
- ミツエーリンクス
- 楽天 (Kobo)
- 集英社
- ボージャー

「EPUB 3.3」の特徴

- **互換性を維持しつつ文書構造を改善**
 - 「構造」ベースから「目的」ベースの仕様書に再構築
- **W3C勧告対象領域を最小化**
 - 審査対象を精査し、多くを「WGノート」として分離
- **アクセシビリティへの本格対応**
 - 「EPUB Accessibility 1.1」を策定し、統合予定
- **日本市場の要望を反映**
 - 論理目次の順序制限を緩和（テルマエ・ロマエ等）
 - 利用実績ある仕様は維持（マルチレンディング等）

「EPUB 3.3」の特徴：文書構造の改善

・ 「構造」ベースから「目的」ベースへ

「EPUB 3.2」の構成

- EPUB 3.2
- EPUB Packages 3.2
- EPUB Content Documents 3.2
- EPUB Open Container Format (OCF) 3.2
- EPUB Media Overlays 3.2
- EPUB 3.2 Changes
- その他関連資料多数

EPUBを構成する各要素（基本仕様、OPF、ページ要素、パッケージ仕様など）ごとに仕様書が用意されており、わかりにくい

「EPUB 3.3」の構成

- EPUB 3 Overview
- **EPUB 3.3（仕様対象）**
- **EPUB Reading Systems 3.3（仕様対象）**
- **EPUB Accessibility 1.1（仕様対象）**
- EPUB Accessibility Techniques 1.1
- EPUB Multiple Renditions 1.1
- EPUB Canonical Fragment Identifiers 1.1
- その他「WGノート」を複数制定

コア仕様、ビューワー要求、アクセシビリティ対応の3つの仕様書が中心、その他は互換性維持や参考情報として「WGノート」として制定

「EPUB 3.3」の特徴：アクセシビリティ対応

- アクセシビリティ関連の資料（WGノート）が増加
 - EPUB Accessibility Techniques 1.1
→ EPUBをアクセシブルにするための技術資料
 - EPUB Accessibility - EU Accessibility Act Mapping
→ 欧州アクセシビリティ法との対応をまとめた資料
 - EPUB Fixed Layout Accessibility
→ フィックス型向けのアクセシビリティに関する資料
 - EPUB 3 Text-to-Speech Enhancements 1.0
→ 音声読み上げの仕様をコア仕様から分離



「EPUB 3.3」の策定状況（1/2）

- **仕様書の調整は最終段階**

- Github上の課題も3桁越えから20件程度に収束
（毎週のWG定例会議で1年かけて課題を少しずつ消化してきた）
- 重点課題の1つ「HTML5化」も3.3では見送ることに決定

- **「テスト」と「水平レビュー」**

- ビューワーが仕様に対応しているかチェックする「テスト」
- セキュリティやプライバシーなど他グループによる「水平レビュー」

- **「CR（勧告候補）」化を2021年内に目指す**

- 最終的な勧告となるのは2023年初頭の予定



EPUB

「EPUB 3.3」の策定状況（2/2）

- 「テスト（Tests）」の準備
 - W3Cの仕様として申請するためには、IDPF時代にはなかった仕様をチェックするための（ビューワー向け）テストが必要
 - ※ 「EPUBCheck」はEPUBファイルのテストツール
 - 2021年4月頃にGoogleのDanが参加し、現在鋭意進行中
<https://github.com/w3c/epub-tests>
- 「水平レビュー（Horizontal Review）」の実施
 - アクセシビリティ、国際化、プライバシーやセキュリティ、TAG（W3Cの技術諮問機関）の観点で、他グループによる仕様書のチェックが現在進行中

「EPUB3-WG」の最新状況

- **2021年9月に「W3C出版系セミナー」を開催**
 - <https://www.w3.org/2021/09/publishing-seminar/>
- **2021年10月に「EPUB3-WG」に「Apple」が参加**
 - Google/Apple/Koboとグローバルプレイヤーが出揃ったので、あとはAmazon社からの参加が期待されるどころ
 - ✓ 日本からは電通社からも最近1名参加してくれました
- **「EPUB 3.3」の次を考える時期に**
 - 2021年10月27日（水）22時から90分枠でW3C出版系グループを横断した「Discussion about EPUB.next」を開催予定
 - ✓ 「Publishing Community Group」経由により無料で参加可能



Thank You!



EPUB